

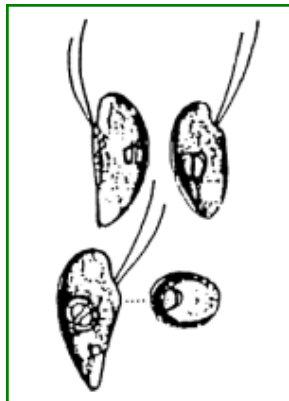
# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第22報 ～

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成15年9月1日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



*Rhodomonas* sp.  
(ロードモナス)  
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約10 μmと小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。  
2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



*Arcella* sp.  
(ナベカムリ)  
肉質虫類

有殻アメーバに属し、殻は皿状又は椀状でドームの形をしている。

コメント

植物プランクトンは前回と同様に、褐色鞭毛藻に属するロードモナスやクリプトモナスが多く計数された。今回は、前回の調査時より細胞数は増加傾向にある。動物プランクトンはナベカムリが初めて優占種となった。本種は、いたる所の湖沼に分布し、夏季にプランクトンとして採集される。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
肉質虫類	<i>Arcella</i> sp.	90

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	40

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成15年9月1日

第22報

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis wesenbergii</i> *	1		
(藍) <i>Phormidium</i> sp. *	1		
(黄) <i>Chlorocloster</i> sp.	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	6		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	36		
(珪) <i>Synedra acus</i>	2		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>lanceolata</i>	20		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	280		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	480		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	1		
(藍) 藍藻綱	2	0.2	2.9
(黄) 黄緑藻綱	10	1.1	0.1
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	64	7.2	15.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	1.1	0.4
(褐) 褐色鞭毛藻綱	760	85.6	72.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	42	4.7	8.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	888	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	7.67E+05
種 類 数	13		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各網ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。